

かはづ通信

2018年4月29日

vol. 122

新緑
いっぱい号

発行 北川かっぱの会

<http://kitagawakappanokai.la.cocan.jp/>

<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

5/20春の北川クリーンアップご協力ください



泥の中でいきものを網で拾い出します

報告

北山公園しょうちゃん池でかいぼりを実施

4/21(土)、北山公園しょうちゃん池でかいぼりをしました。2010年3月以来の2回目になります。かいぼりとは池の水を全部抜いてさまざまな作業をする、もともとは農作業のひとつでした。主催東村山市、事業受託NPO birth、協力団体北川かっぱの会の三団体による協働体制で実施されました。主としての目的は外来種の駆除、水質の浄化、生物が生息しやすい池への改良です。

東村山市が市報で公募した参加者50人、かっぱの会関係者約25人が水を落としたり、しょうちゃん池に入り魚をすくいました。

外来種のコイはかなりの数を捕獲できました。コイは池底の土を巻き上げて水質を悪化させる上に大食漢なので、在来系のいきものには大敵です。オオクチバスはおなかに卵を抱えていたものが捕獲されており(2頁写真)、ギリギリセーフだった感じです。ただ、全体的には在来種が多くホッとしています。



かいぼりについてのていねいな説明



かい掘りは泥との戦い



大忙しの計測班、種類と個体数をカウントする



ブラックバス約40cm、密放流か？

池の改良として、フチの一部に土をいれました。しょうちゃん池は人工池で、池のフチは垂直に切り立っていたり、石で形成されていて、水生植物がまったくありませんでした。そこで、公園側のフチの部分の石を一部撤去して、そこに土をいれてみました。

この土は一週間前の準備作業で八国山ふたつ池の浚渫土を持ってきておいたものです。ふたつ池では昨年浚渫を行ないましたが、その浚渫土を保管しておいたのです。植物の種というは、発芽不適な場合、種のまま機会を待ちます。だいたい30年くらいは種であれば生き続けられるそうです(埋土種子)。30年前はあったのに、今は絶滅してしまったと思われる植物の種が入っているかもしれません。それが、しょうちゃん池で、スイッチが入るかもしれないのです。タイムカプセルのようです。

ここで、今回の結果を振り返ってみると、魚では、5cm前後のギンブナを中心に、大きなナマズやメダカをはじめ、北川でも普通にみられるモツゴ(クチボソ)、タモロコなどの顔ぶれがそろって採れていました。エビやカニ、トンボのヤゴなども含めると総勢10種類を超えたかもしれません。でも、中には前回のかいぼりで採り出し切れなくて大きく育った？コイの他、北山公園内で防除活動の対象としているアメリカザリガニや数は少ないながらミシシippアカミミガメ、ウ



池の縁に古い池の浚渫土を客土する

シガエル、オオクチバスもみられました。

当日の参加者には恵まれた天候でしたが、強い日差しの下、泥沼化した池内…… かいぼり終了時刻後も、所々に残る深みの泥水表面で、酸欠（酸素欠乏）によって、アップアップしている採り残した魚……とにかく一匹でも

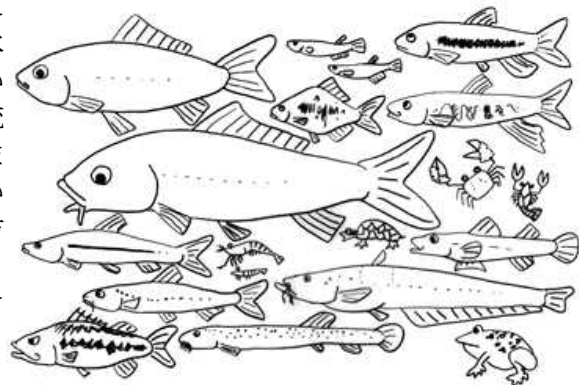
多く掬い（救い！）出して生かしてあげたいと、主催者側の救助隊が残って頑張っていました。

詳細結果は、主催者のとりまとめ結果を待つこととして、しょうちゃん池は、この先2週間程、水質改善を目的に、水を抜いた状態で乾燥させて、底泥内の余分？な栄養分を減らすことになっています。この先、水草もみられる、今までより透明度が良くなった池になることを期待しましょう。

前回のかいぼりの時も、前日にまず水を魚が生息できるギリギリまで落としておいて、当日、一気に水を抜いてしまうという方法でした。この時期、たんぼの水路側からしょうちゃん池への流入はありませんが、実は八国山からの湧水が普段は水位で見えない管の出口からしょうちゃん池へ流れ込んでいます。しかも、そのルートが複雑というか、よくわからないところがあって、前回は、そのルートを逆走して魚が湧水をためておく小さなプールに逃げ込むという事態も起こりました。

今回のかいぼりでは、水抜きの特設業者さんとして、都内の足立から丸三興業さんにきていただいていたました。かいぼり界？では有名な業者さんです。前日の水抜きでは、やっぱり湧水がちよろちよろでした。でも、業者さんが小さなプールに入ってあっという間に水をくみ上げ、詰まっていた落ち葉を除去。水の流入を完全に止めてくれました。水抜きがうまくいけば、かいぼりは8割方勝ったも同然ですから、この業者さんの力は大きかったと思います。

（康&はんべえ）



またまた外来種の話 -シジミの場合-

北川や北山公園内水路でシジミの貝殻を見たことはありませんか？ 私たちが普段食べている、黒くて光沢のあるシジミは、そのほとんどが河口（汽水域）に棲むヤマトシジミという種類です。一時、荒川・江戸川河口でも大発生して、潮干狩りを楽しんでいる様子がニュースにもなりましたね。

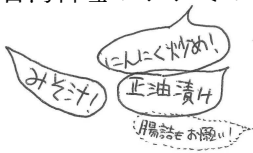
一方、河川（淡水）の中～上流域にはマシジミがいます。殻の色が小さい時は黄褐色で次第に黒くなり、内側は紫色系・・・らしい。これら2種に、元々琵琶湖水系限定であったセタシジミを加えた3種が在来の食用シジミです。

今回取り上げるのは、要注意外来生物に指定されたタイワンシジミ。マシジミに比べると殻が黄色がかり、内側は白っぽいとのことですが、色での区別ってなかなか難しいです。中国や台湾など東アジアの淡水域に分布し、輸入されてきた数種類のシジミ類の中で、1980年代から国内での定着が確認されているとの事です。マシジミと交雑するとタイワンシジミの遺伝子型になること、繁殖力が強いこと、大量発生後大量死すると水質を悪化させることなどから、1990年頃から各地で問題になっています。やや汚れた水と泥底を好むそうで、現在北山公園周辺でたくさん見られるのは、多分こちらなのだろうと私は思っています。でも確認は必要ですね。

味は？？ 霞ヶ浦の側溝で大量に捕ってきたタイワンシジミ？は、泥臭くは無かったけど、あまり'出し'が出なかったです。台湾料理の'シジミのニンニク炒め'、日本ではヤマトシジミだと思っただけ、台湾の屋台ではタイワンシジミなのではないでしょうか？タイワンシジミ、できれば食べて成仏させて、国内のマシジミの味方になりたいですね。

通販健康食品で有名な'オルニチン'は、シジミ類から抽出されます。健康食品が'肴'！

ところで、たっちゃん池の放水路で1970年頃に捕って食べたのはマシジミだったのかなあ？ <康>



報告 総会を開催しました

3月10日（土）、中央公民館で「総会」を開催し、2017年の活動総括と2018年の活動方針、2017年の決算、2018年の予算が承認されました。また、役員については、代表や事務局長、事務局次長、会計担当など昨年と同様な体制で執行していくこととなりました。なお、承認された2017年度の活動総括と2018年度の活動方針については、当会のホームページで見ることができます（「北川かっぱの会」で検索）。総会の場で議論になった主な点は、以下のとおりです。

①北山公園しょうちゃん池のかいぼり（4月に実施）にどう対応していくのか →市民に対してかいぼりの意義をきっちりとアピールしていくことが重要であること、池の水際（水底から湖底）に積まれている玉石の移動や移動した周辺に在来植物の植生帯（二つ池の埋土種子の活用など）の設置などを行っていききたいこと。

②外来生物防除対策をどう強化していくのか →外来生物の捕獲について、市とかっぱの会との役割分担（市の施設の利用、捕獲、処分、市民への周知など）について明文化し、根拠のある協働体制を目指すこと。また、かっぱの会のピブスを製作し、活動時に着用していくなどについて検討していくこと。

③菖蒲まつりでの展示を検討 →週末の特定日（6月2日～3日を予定）に水槽展示と外来生物展示、解説を行う方向とすること。また、「（仮称）トウキョウダルマガエルを守ろうキャンペーン」を実施し、募金活動を実施。募金していただいた方にはグッズ（希少種などを題材にしたポストカード）を進呈する。なお、グッズについては、夏まつりや北山いきものクラブなどでも活用していくこと。

④北山いきものクラブ関係 →北川かっぱの会の活動を紹介する写真を主体としたチラシを作成する他、化成小や育児関係団体への呼びかけを行っていくこと。

⑤生物多様性地域戦略関係 →東村山市に策定を行っていくよう働きかけるため、提案内容を検討していくこと。

⑥調査結果の発表関係 →かっぱの会の存在意義を高めていくような研究発表や提言を行っていくことを目指していくこと（かいぼりの魚類調査結果、5年間の外来生物の捕獲結果など）。

などでした。この1年の活動についても、引き続き皆様方からのご支援をよろしくお願いいたします。なお、会員の皆様方には「かっぱ通信122号（本号）」と一緒に、別刷で決算や予算、新役員についてお知らせしています。



報告 狭山公園湧水の池生き物調査

3月11日(日)、狭山公園パークセンター実施の「狭山公園湧水の池」の生き物調査に参加しました。かっぱの会、北山小の子ども達、狭山公園友の会の皆さんなど、総勢15名程での作業となりました。

場所は、たっちゃん池の脇、崖下の小さな池。常に水の湧き出るこの池は、カエル、トンボなどが生息しやすい豊かな環境があります。この池にどんな生き物がいるのか、網ですくいながら、確認します。ミズムシ、カワニナ、ヤゴ、ザリガニなど多くの生き物がいま



した。今回、私が魅了されたのはマツモムシ。池の表面にひっくりかえって(背泳ぎで)すいすい泳ぐヘンテコリン

な虫。ずっと眺めているうちに、ファンになりました。生き物の生息しやすい環境作りを目指してデータを取り、あわせてクレソンの駆除、池の環境改良も実施。高い志と楽しい作業がワンセットの充実したひとときでした。(藤み)

啓告「守ろう! トウキョウダルマガエル募金」始めます

北川かっぱの会では、これまでのイベントでも募金箱を置いて皆様にご協力いただけてきましたが、外来、在来生物に対する世の中の注目度も考慮し、いただいたお金のより明確な使用目的を示すため、「守ろう! トウキョウダルマガエル」と銘打った募金を行うことにしました。いただいたお金は主に外来生

物対策の予算として使用します。その他詳細を詰めているところですが、『いきものマップ』と連動したポストカードを作成し、ご協力いただいた方にはプレゼント、ということも検討しています。

第1回は北川かっぱの会としては初参加となる、菖蒲まつり会場(6/2、3)となる方向で調整中です。皆様のさらなるご支援をよろしく願いいたします。(じんだんぼ)



**SAVE THE
TOKYO
DHARMA POND
FROGS**
守ろう! トウキョウダルマガエル



2018年5月～7月 活動スケジュール

ホ は **ホランティア募集** の略

性別、年齢、経験不問。HP、ブログ(検索:北川かつばの会)
または直接会員にお知らせください



北川かつばの会 会議日程

臨時定例会 5/5(土)16:30～17:30

サンパルネ3階 (6月までに開催のイベントの詳細について検討予定)

定例会 6/9(土)18:00～19:00頃

サンパルネ3階 (9月頃までの活動予定等について検討予定)

小学校土曜講座 **ホ**

会員皆さまのご協力をお願いします。

北山小・ヤゴ救出作戦

5/26(土)9～12時頃 北山小

雨天の場合は翌日に順延

北山小・ホテル観察会

6/23(土)18～20時頃 狭山公園

パークセンター集合 雨天中止

富士見小+南台小+北山小

落合川へ行こう

6/30(土)10～16時頃 東久留米南沢湧水 雨天中止 (詳細は検討中)

北山小・八国山虫とりハイク

7/14(土)午前5:00～7:30

北山小正門前集合

富士見小+南台小

八国山昆虫採取

7/15(日)10:30頃～八国山たいけんの里集合 (予定) 雨天中止

多摩湖緑地・原風景を守る会活動日程

5/6 (第1日曜) 9:00～

5/16 (第3水曜) 13:30～

5/19 (第3土曜) 13:30～

畑にて維持管理作業と収穫と落葉かき

定例川そうじ 毎月第2土曜 9-11時

6/9、7/14(土) **ホ**

集合: 北山小正門前

川端会議 東村山市主催

5/12(土)10:00～12:00市民センター北山公園等の整備や管理についての市、市民団体、市民による意見交換会。今年度から開催場所が変更になりました。どなたでも参加可能です。

春の北川クリーンアップ **ホ**

5/20(日)10:00～12:00

将陣場橋、大関橋、宅部遺跡橋、または水道橋集合; 雨天中止。長靴、手袋などを持参。

北山いきいものクラブ **ホ**

5/12、7/14(土) 毎月第2土曜

13:00～15:00頃、(6/9はお休み)

北川や北山公園で捕獲した魚類等の展示と魚とりなど。雨天中止。

北山公園の外来生物駆除 **ホ**

5/12(土)13:00、6/2(土)8:00、

7/14(土)13:00開始 カゴアミの仕掛けと回収、日光浴ワナの点検; 各60分程度 その他、不定期での点検作業あり (日程はかつばブログに掲載)

菖蒲まつりでの北川水族館展示 **ホ**

6/2(土)～3日(日)北山公園本部テント 北川や北山公園で捕獲した魚類等の展示、トウキョウダルマガエルを守ろうキャンペーンの開催

全国の川・一斉調査 ㊦

6/3(日)9:00~12:00 廻田公民館
集合 北川と前川の10箇所について水質調査を実施;雨天決行。

夏まつり実行委員会

第1回 4/30(休)17:30~18:30頃
サンパルネ3階 昨年の夏まつりの反省点などを踏まえ、今年の夏まつりの基本的な方向性について検討します。

第2回 6/9(土)17:00~18:00頃
サンパルネ3階 夏まつりの内容の概要について決定します。多くの関係者の参加をお待ちしております。

北山わんぱく夏まつり ㊦

8月上旬予定 開催日時や遊びメニューの概要について、5月初旬に「かっぱブログ(「北川かっぱの会」で検索)」に掲示する予定です。

ご寄付に深謝

沙羅の会様より、また狭山丘陵フォトロゲイニングや北山公園のかいばりりで多数の方々から寄付をいただきました。ありがとうございました。

新会員登場

久野稔晃さん(東村山市恩多町)
父の残した農地を耕しながら、人と生き物の関わりを強く意識する様になりました。より深く自然を理解出来ればと思っています。

北川かっぱの会刊行物

『未来の川へ・北川復元プラン』
北川復元プランのパイロットケースとして、北山公園周辺の北川が変わりつつあります。21世紀の未来の川の姿を探る一冊。頒価1000円 送料82円。新一般会員には無料贈呈

『北川流域マップ

—未来の川へ—

北川公園、八国山を歩くための地図。流域の生き物ミニ図鑑付き。

A2両面版 頒価200円

『八国山・北山公園の生き物観察ガイド』

A2両面版の生き物ミニ図鑑と解説。観察会などイベントで無償配布。

『北川・八国山・北山公園いきものマップ』

かっぱの会20周年記念発刊。北川・八国山・北山公園では、どこにどんな生き物が見られるか、環境ごとに誰もが普通に見られる種を主体に示したマップ。観察会などイベントで無償配布。A2両面版。

かっぱの会会員募集

狭山丘陵の東麓、トトロの故郷北山公園一帯の緑の保全とその前を流れる北川の清流復活という夢をもって作られた会です。自然と野外の遊びが大好きで、趣旨に賛同、活動に参加できる方(参加、入退会自由)を広く募集しております。

●会費 一般会員：年間 3000円
支援会員：2年間で 2000円
学生は2年間で 1000円
「かっぱ通信」年5回をお送りします。

●問い合わせ・申込み先
<http://kitagawakappanokai.cocolog-nifty.com/blog/>

●会費振込先
〔郵便振替 00120-6-104476〕
〔りそな銀行東村山支店
(普)3605694〕

加入者名 北川かっぱの会
●かっぱ通信は市内の公民館と図書館に置いています。

●編集後記 新緑がいい季節。緑と春を告げる花の競演は素晴らしい。連休は混み合わない八国山がベストチョイスか。(遊星歯車)

●発行:北川かっぱの会
連絡アドレス CZT12221@nifty.ne.jp

